

INTRODUCTION

心大血管疾患リハビリテーション施設紹介

vol. **4**

紹介施設

北海道医療生活協同組合 札幌緑愛病院

Sapporo Ryokuai Hospital

患者一人ひとりのライフスタイルを把握した 本当のきめ細やかな心臓リハビリテーション

当院においては急性期治療は行っていないものの、心不全などの高齢で重症な患者が多い。

心リハ室のどこからでも心電図などをモニタリングできるようにあらゆる場所に

モニタディスプレイを配置し、死角ができないように注意をはらっている。

患者一人ひとりが何を望んでいるか、何をできるようになりたいかなど細かく聞き出し、

院内でのリハビリだけでなく、在宅での自主訓練までもきめ細かくフォロー。

場合によっては、患者の自宅を訪問し、日常生活に必要な動作を確認しリハビリメニューを決定している。



病院概要

所在地 北海道札幌市

開院日 1983年10月

病床数 135床



心リハ施設概要

施設基準 I

面積 約95㎡

その他 心臓リハビリテーションセンター内に循環器内科の診察室を配置

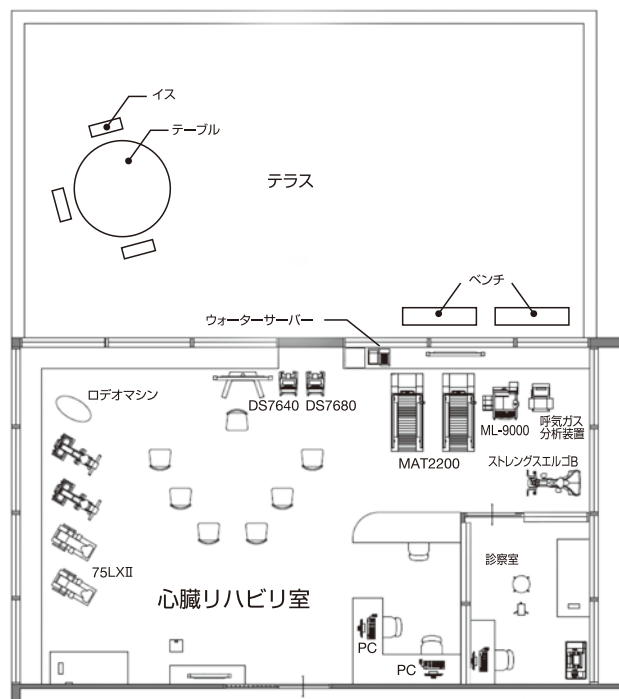
●リハビリ室使用機器

心電図モニタリングシステム	生体情報モニタ	DS-7680	1台
		DS-7640	1台
	テレメータ	LX-5120	12台
		LX-7230N	1台
自転車エルゴメータ	75XLII 他	4台	
トレッドミル	MAT-2200 他	2台	
除細動器		1台	

●心肺運動負荷試験 (CPX) 用機器

呼吸ガス代謝モニタ	MINATO AE-300S	1台
運動負荷試験装置	ML-9000	1台
OWエルゴメータ	ストレンクスエルゴ8	1台

※ML-9000、ストレンクスエルゴ8はリハビリにも使用。



心リハスタッフ

●スタッフ総人数

医師	2人	
看護師	2人	
理学療法士	2人	
運動指導士	1人	
臨床検査技師	1人	(検査時)
管理栄養士	1人	(健康教室時)

●リハビリ1回あたりのスタッフ

医師	1人	理学療法士	2人
看護師	1人	運動指導士	1人



リハビリテーションの流れ

患者数

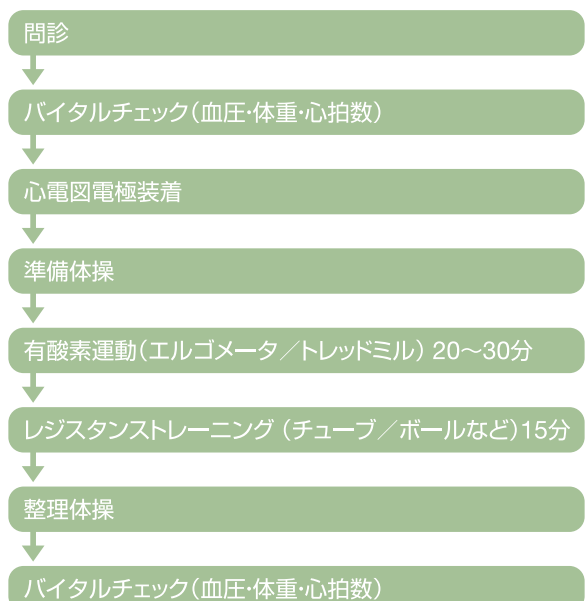
患者数	13~40人/日	
病態	慢性心不全	46%
	狭心症	33%
	手術後	10%
	急性心筋梗塞	8~10%
	末梢動脈閉塞性疾患	8%

スケジュール

外来患者	1クール	9:00 ~ 10:00
	2クール	10:00 ~ 11:00
	3クール	11:00 ~ 12:00
	4クール	13:30 ~ 14:30
	5クール	14:30 ~ 15:30
	6クール	15:30 ~ 16:30

入院患者	検査・治療の時間に合わせて 上記スケジュール以外にも調節
------	---------------------------------

リハビリの流れ



当センターの特色

羊が丘の高台に位置し、三方向が大きなガラス窓で囲まれたリハビリ室にしたことで、窓の外を見ながらトレーニングができるように配置している。

入院患者の場合

一時帰宅の際などに患者と一緒に自宅まで行き、訪問することもある。たとえば、玄関の段差や、洗濯機と洗濯干し場の位置関係、食器棚の高さなど、実際の生活スペースを見ることで、リハビリ室ではわからなかった日常生活に必要な動作が見えてくることも多い。患者の自宅を訪問することで言葉だけでは伝わらない部分をしっかり確認してリハビリプログラムに組み込むようにしている。

外来患者の場合

北海道という土地柄、遠方から通う患者も多い。週3回通ってもらうのが理想的だが、難しい場合も多いため、リハビリ室で行うプログラムだけでなく、自宅で行うプログラムも作成し、メニューを患者に渡している。次回外来時に自宅でのリハビリ内容を確認し、必要な場合はメニューの再編成を行う。日常生活への復帰だけを目的とするのではなく、患者によっては趣味のスポーツ(ゴルフなど)ができるまで回復したいという要望もあるため、ゲーム機を活用して動作を確認することもある。

患者集めの工夫

当センターでは、患者や患者の家族、地域住民が誰でも無料で参加できる「健康教室」を定期的開催している。健康やさまざまな病気について広く知っていただく専門スタッフが分かりやすく説明し、日頃の疑問や不安の解消に一役かっている。健康教室の内容は心臓リハビリテーションに限らずさまざまなテーマを用意し、実際に体験してもらうこともある。患者や地域の方々が気軽に参加できる体制を整え、心臓リハビリテーションの認知を広めている。

また、スタッフ対象の院内勉強会も積極的に行っており、他部門・他職種のスタッフを集めて心臓リハビリテーションについて講義を行っている。心臓リハビリテーションの有用性や必要性を理解してもらい、患者集めに協力してもらえよう啓蒙活動を行っている。

comment

当院が建つ地域は札幌市の中心街からやや遠く、循環器科を有する病院の少ない地域で、急性期治療の担い手も限られていました。あえてその地域に亜急性期から慢性期を中心とした循環器科を設立したことで、競合ではなく協和・連携を目指した医療機関作りを目指しています。札幌市から新千歳空港をつなぐ北広島市、恵庭市、千歳市につながる主要国道沿いに位置するため、市内のみではなく近郊の患者さんの受け入れも視野に入れて施設展開を進めています。

循環器内科 心臓リハビリセンター所長 秋野 正敏 先生

フクダ電子株式会社

〒113-8483 東京都文京区本郷3-39-4 TEL (03) 3815-2121 (代)

フクダ電子ホームページ / <http://www.fukuda.co.jp/>

お客様窓口… ☎ (03) 5802-6600

受付時間:月～金曜日(祝祭日,休日を除く)9:00～18:00